CoCシナリオ：江戸城の怪

# シナリオ概要

時は江戸時代、徳川家が天下を統一して江戸の町は平和に治まっていた。そんなある日、将軍である徳川時家（架空の人物です）とその家臣は悪夢に悩まされるようになった。その悪夢とは、屋根裏から悪霊が現れて江戸城を乗っ取るというものだった。悪霊の原因は志半ばで倒れた織田信長の怨霊にとり付いたニャルラトテップ（＝悪心影）。彼は江戸城の屋根裏に次元の狭間を開いて城ごと乗っ取り再び自らの手で天下統一を企てていたのだ。探索者たちは悪心影の野望を食い止めることができるだろうか。

# 導入

探索者の中に最低１人、それなりに名の知れた侍をいれてください。その人物に時の将軍、徳川時家が、”最近悪夢に悩まされており、どうにかして解決して欲しい”という依頼をしてきます。時家は悪夢の内容を話したあとで、屋根裏を調査して欲しいといって、何十年も使われていない屋根裏を開放してくれます。なにか準備をさせる場合はここでさせましょう。屋根裏に行くとその奥には黒く禍々しい渦のようなものができており、【目星】などでよく観察するなら、なにかがこちらを見返しているような恐怖に襲われます（0/1）。探索者たちが渦の中に入ると、突然意識を失い、気づいたら半分焼け落ちている建物の中で目を覚まします（KPI：渦の中には信長の怨念が作った世界が広がっています）。

# 探索１～信長の記憶～

**＜焼け落ちた本能寺＞**

探索者たちが目を覚ますと、そこは黒く焦げた建物の内部です。奥に続く扉と、外に出る出口だと思われる門が見えます。天井は半分剥がれており、空には星が輝いています。

＜本堂＞

探索者たちが目を覚ました部屋。あたりは黒く焼けていてほとんどのものは原型をとどめていない。部屋の奥には台座のようなものがあり、その上には対になるような形で２つ、銅像のようなものが置かれている。【目星】に成功かつ【知識】も成功、または【歴史】や【考古学】でこの銅像が仏像であるとわかります。台座の横にはかろうじて機能している扉があり、反対側には外に続く壊れた扉と、その奥に門のようなものが見えます。

＜信長自害の地＞

本堂から奥に入った部屋です。割と小さめな部屋で、その真ん中には日本刀が間に挟まっている白骨死体があります（0/1d3）。挟まっている日本刀は持ち帰ることができます（初期値15%,1d10）。天井は剥がれており、壁もボロボロですが、床に【目星】で一枚外れる畳を見つけることができます。畳の中には「誰かの遺言」と「朱印」が隠されています。「誰かの遺言」：“まことに遺憾ながら、私はもうここまでのようだ。私の夢がこんな形で崩れ去ってしまうことになろうとは。あやつだけは絶対に許さない。私の体はここで燃え尽きようとも、魂は消えることはない・・・”朱印には文字が彫ってあり、【知識】で“天下布武“と書かれていることがわかります。

＜山門＞

外に出るとボロボロの門があり、門には何かが書いてあります。【目星】-15%でそこには「本能寺」と書かれていることがわかります。外には焼け野原が広がっています。

**＜設楽原＞**

かつて信長が武田氏を長篠の戦いで破った地。焼け野原にはぼんやりと武士の姿が見える。彼は織田側の武士で、話しかけると“殿を見なかったか？”と言ってくる。ここで天下布武の朱印を見せると、どうかこれを殿に届けて欲しい、といってダンボールほどの大きさの木の箱を渡してきます。箱の中には明智光秀の生首が入っており、もし探索者が開けた場合には、中には人の頭が入っており目はギョロッとこちらを見ているようだ（1/1d4）。朱印を見せない、または持っていない場合は、“殿を見つけたら報告してくれ”と言って遠くの方を見始めます。また、中央に沼地のようなものが有り、そこも鎧をつけた落ち武者が沼の方をみて佇んでいる。彼は武田側の武士で、死後そのまま成仏できずにここにいる。話しかけると次のような事を話す。“わしは戦場で戦っていたが気づいたときにはもう攻撃を受けて死んでいた”，“やつらが使っていた武器はわしらには見たことのないものだった、やつらは黒い何かを構えていて気づいたら仲間が死んでいた”、“この地にはもう人はいない、人を探しているなら町に行くと良い。”話し終わると落ち武者はまた虚ろな目で沼を見続ける。彼が指さした方へ進むと、しばらく何もないが突如大きな城がある町が現れる。

**＜城下町＞**

町自体には様々な建物があるのだが、どこも明かりがついておらず人気がない。ここで全員に【目星】をふらせる。成功した場合は何か半透明の人間のような不気味な影が通り過ぎていくのを目撃する（0/1）。【幸運】でどこかの家が空いていて何か必要なものが手に入ったことにして良い。町の中央には大きな石造りの城がそびえ立っており、中から明かりが漏れている。

# 探索２～闇の安土城～

＜１層＞

城内に入ると目の前には左に虎が描かれた屏風が、右には龍が描かれた屏風がある畳の部屋に出る。屏風の奥には床の間のようなスペースと上に続く階段がある。床の間には世界地図が貼ってあり、その下には羅針盤がある。羅針盤の針は３時の方向を指している（虎と龍の間の方角です）。屏風の間にある畳に【目星】をつかうとその畳が剥がれて中にはカンテラと火を起こせる火打石（成功率30%）が入っている。

＜２層＞

この部屋もやはり畳の和風な部屋になっている。真ん中には大きめの机が置いてあり、向かって右側の壁には桜・月と城・富士山・日本海をそれぞれ描いた絵がかかっている。向かって左側の壁には掛け軸があり、”高きにも 深き所処にも 見えざれば 都匂ひて 道は開けん”と書かれている。また、奥には上に続く階段があるが、その前には”この先の立ち入りを禁ず”と書かれた立札がある。桜の絵を調べると、絵がある壁ごと回転し、奥には上に続くはしごがある。登ると４層に行く事になる。桜以外の絵を調べると、死体が降ってきます（0/1d3）。

＜３層＞

階段を進むと、次の部屋はどうも明かりがついていないようで暗いようだ。棚にツボのようなものが飾っており、奥には何か仏像のようなものがあることはわかる。カンテラなどで明かりをつけた場合、棚にはたくさんのツボが置いてあり、奥には仏壇があり、そこには観音の仏像が置いてあることが分かる。明かりをつけた場合は部屋全体に【目星】で明かりのもとで自分たちではない何かの影が揺れ動いていることに気づきます（0/1d4）。また、【聞き耳】をすることで、何かの息遣いのようなものが聞こえてきます。（KPI：この部屋には姿の見えないヨグ＝ソトースの落とし子が潜んでいます。）もし、探索者たちが目星や聞き耳ロールのあとですぐに立ち去らなかったり、技能を使わずにそのまま中を調べようとしたりした場合は、ランダムで一人にヨグ＝ソトースの落とし子が「噛み付き」で襲いかかってきます（不意打ち扱いで自動成功）。噛み付きの際に、落とし子はその姿を現します。かろうじて人の形をしたそれは、胴体が大きく膨れ上がっており、その体には無数の目玉がついていて、探索者を捕食しています（1d6/1d20+1d4）。この光景を見てもなお逃げなかったり、発狂して部屋に留まる探索者がいたりすると、その探索者に向かって続けて落とし子は攻撃してきます。

＜４層＞

はしごを上ると目の前に障子が貼ってあり、部屋の中を見ることができません。障子を開けると、奥には上に続く階段があり、その脇には２人（PL数によって増やしても構いません）の亡霊武士が待ち構えています。１人は手に日本刀、一人は火縄銃を構えており、探索者を見つけると襲いかかってきます。亡霊たちを倒すと、先に続く階段を登ることができます。

＜５層（天守閣）＞

部屋の４隅に大きな木の柱が立っており、奥の大きな椅子には邪悪なオーラを放つ武将（＝悪心影）が腰掛けています（1/1d4）。彼は探索者を見つけると、”先程は家臣が無礼を働いたようで失礼した、わしになんの用だね”と尋ねてきます。設楽原でもらった箱を渡した場合、箱を開けた悪心影は“これは・・・！”と言って探索者の方に向き直ります→ENDING：Aへ。箱を渡さなかった場合はRPによって敵対するかどうかが決まります。迷い込んでしまったので帰りたい、などのことを言った場合はその場で門を作って帰してくれます→ENDING：Cへ。彼の気に触らないことを言ったり長々と引き止めてしまったりした場合は（KP裁量でどうぞ）、怒りに燃えた悪心影との戦闘になります。まともに戦うとまず勝てませんし、逃げても帰り道は見つからず、悪心影は追ってくるでしょう。１ラウンドに一回、カンテラやマッチなど火のもとを持っている探索者が柱に火をつけ、２つ以上の柱が燃えることで戦闘は強制終了になります→ENDING：Bへ。なお、悪心影は１つの柱に火が付いたことを確認すると、火をつけた探索者を狙って攻撃してきます。

# エンディング

**＜ENDING：A～怨念の開放～＞**

明智光秀が討ち取られたことを知った悪心影は、”わしの復讐は、いらなかったのか・・・すでに終わっていたのか・・・生ける者共よ、礼を言う。復讐の必要がない以上、この世界も用済みじゃ。さらばじゃ、生ける者共よ”といってその姿は次第に消えていきます。気づくと探索者たちは江戸城の屋根裏にいます。黒い渦は消えており、時家が近づいてきて、”でかしたぞ、悪夢は消え去った”といいます。探索者たちには多大な報酬があるでしょう。

**＜ENDING：B～炎の安土城～＞**

２本の柱に火がつくと、たちまち火の手は部屋中に燃え移ります。悪心影は”またしても、この炎の中でわしは果てることに・・・・ぐおおおおおお”と声にならないような叫びをあげます。気が付くと登ってきた階段には白い渦ができており、その中に飛び込むと江戸城の屋根裏に帰ってきます。黒い渦は消えており、時家が近づいてきて、”でかしたぞ、悪夢は消え去った”といいます。探索者たちには多大な報酬があるでしょう。

**＜ENDING：C～終わらない悪夢～＞**

探索者たちは無事に江戸城に帰ってくることができたようです。しかし、時家は浮かない顔をしており、”お主らでは力不足であったようじゃ、残念だが他の者を探すとする”といって城を追い出されてしまいます。悪夢はその後も消えることなく、江戸城は近いうちに悪心影率いる悪霊の軍に占領されるでしょう。

**＊クリア報酬＊**

信長の世界から脱出する1d6　悪心影を開放する1d6（燃やした場合は1d3）

# データ

・ヨグ＝ソトースの落とし子（２５年もの）

STR30 CON20 SIZ30 INT25 POW30 DEX20 APP? EDU? (HP25/SAN?)

攻撃：噛み付き40% 4D6+3D6(DB)、鉤爪 50% 3D6+3D6(DB)

・亡霊武士A

STR13 CON12 SIZ14 INT10 POW10 DEX13 (-2) APP? EDU? (HP13/SAN?)

攻撃：日本刀 50% 1d10+1d4(DB)　装甲：鎧（耐久3）

・亡霊武士B

STR12 CON12 SIZ 10 INT 13 POW12 DEX11 (-2) APP? EDU? (HP11/SAN?)

攻撃：火縄銃 40% 1d10　装甲：鎧（耐久3）

・悪心影

STR25 CON30 SIZ15 INT30 POW20 DEX20 (-3) APP? EDU? (HP23/SAN0)

攻撃：暗月切 75% 2d6+1d6(DB)、闇の一閃65% 1d10+1d6(DB) 相手に恐怖状態を付与する。POW対抗ロールで失敗すると1d6ラウンド戦闘に参加できない。　装甲：鎧（耐久5）